

Interview



大崎助け合い・支え合い (大崎地区)

令和2年
11月設立



いつまでも
これからも
この土地で…

今後の取り組み

- ◎移動支援についてのアンケート調査
- ◎訪問カットサービス

地域に回覧で配布

大崎区として
助け合い・支え合いの
地域づくりに取り組むことを
地域の皆さんにお知らせしました

助け合い支え合いの地域づくりに取り組みます！ 大崎区

大崎地区が、海南市の助け合い支え合い活動の推進地区になりました。
この活動は、市内の地域に呼びかけ、現在12～13地区で取組みが始まっています。
最近の高齢化率データでは、全国平均は28.8% (R2)、海南市は37.3% (R4)、大崎地区は51.7% (R4) となっています。高齢者を支える人口が減ることで、行政等の福祉サービスが、財源的にも人材的にも低下して来ると言われています。
区内では、この取組みを呼びかける以前から、意識せざるも自然に行われていることが多くあると思いますが、今後更に、区民がお互いに助け合いと支え合いの気持ちで、暮らしていくことが、これからの新しい時代を築いていくため大切となってきます。

目的（どんな助け合いと支え合い？）

- ・高齢者、障害者、子供等の見守り
- ・日頃の話し相手
- ・買い物などの手伝い
- ・ゴミ出しなど日常的な家事の助け合い等々
- ・地震による津波からの避難時
- ・避難所での助け合い
- ・風水害や土砂災害時の避難
- ・病気やケガの時の救急連絡等

※そのために日頃からコミュニケーションづくり

- ・公民館活動や各種団体・サークル活動、区の事業に参加しましょう。
- ・家庭菜園や釣り等々趣味や特技でコミュニケーションの輪を広げよう。
- ・少人数からでも定期的に食事会やお茶会を開こう。
- ・高齢者世帯などお互いに声掛け、挨拶、日常的な助け合いを広めよう。

※誰もが、互いに助ける人であり、助けられる人であること

- ・隣近所、知人友人や親類等と日頃から良好な関係を築きましょう。
- ・誰から強制されるのではなく、一人ひとり自主的な行動で広めよう。
- ・出来る人から、出来ることを、出来る範囲から取り組みの輪を広げよう。
- ・助け合い支え合いは、有償、無償に関係なく。

**和歌山県朝日夕陽百選
地域住民の方がきれいに
整備してくれています**

